



紫式部 : 吉高由里子  
 藤原道長: 柄本佑  
 脚 本: 大石静  
 制作統括: 内田ゆき  
 広報PD : 川口俊介

物語 (NHKホームページより一部抜粋)

少女のまひろが出会った運命のひと。それがのちの最高権力者となる藤原道長である。まひろと道長はやがてお互いに惹かれていく・・・

父の受領としての赴任先・越前に同行したまひろ。一方で、道長はライバルを蹴落とし、権力の階段を急速に上り始めていた。まひろは思いを断ち切って、京に戻り藤原宣孝との結婚を決める・・・



大河ドラマ「どうする家康」出演俳優会見  
松本潤さん意気込み

▲大河ドラマ「どうする家康」  
出演俳優記者会見  
NHKホームページより

「どうする家康」初回 総合視聴率25・2%  
⇒視聴人数2880万人「鎌倉殿」超え  
(総合テレビとBSプレミアム両方視聴の重複を除く)

2017年「おんな城主 直虎」	総合22・1%
2018年「西郷どん」	総合21・9%
2019年「いだてん」	総合20・3%
2020年「麒麟がくる」	総合25・3%
2021年「青天を衝け」	総合26・3%
2022年「鎌倉殿の13人」	総合25・8%

▲大河ドラマ「光る君へ」  
藤原道長役決定記者会見 NHKホームページより

スケジュール (見込)

R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
		道の駅越前たけふ開業			大河ドラマ撮影開始				冠山峠道路開通	「光る君へ」プロモーション強化	大河ドラマ放送開始	大河ドラマ館オープン	新幹線開業								JR各社による北陸デスティネーションキャンペーン	大河ドラマ館閉館	

認知度向上

首都圏における認知度調査 (越前たけふ駅誘客促進基礎調査より)

- ・福井県を「よく知っている」「知ってる」19%
- ・越前市を「よく知っている」「知ってる」10%



JRの新幹線開業プロモーション・北陸デスティネーションキャンペーンに加えて、大河ドラマプロモーションとの相乗効果を図りながら、効果的なプロモーションを実施

観光誘客・観光周遊

<大河ドラマ関連施設の入込目標と想定されえるターゲット層>

- ・大河ドラマ館 25万人
- ・紫式部公園及び紫ゆかりの館 10万人

年齢層		住所地	
60歳以上	17万人	越前市民	4万人
40～50代	9万人	福井県民	13万人
20～30代	6万人	近隣県	14万人
小中高生	3万人	遠方県	4万人
計	35万人	計	35万人



・周遊観光のコンテンツ (期間限定・地域限定) として活用し、市内周遊やあわら温泉など県内宿泊客の増加を図り、経済波及効果をより大きなものに。

・越前の歴史、文化、ルーツに関心を持つ好機

越前国の国府の情緒を感じる旅

- ・総社、国分寺、本興寺、国府発掘、まちなみなど

1500年の歴史から息づく文化を感じる旅

- ・越前和紙、越前打刃物、越前筆筒、越前漆器、越前焼など

ドラマにつながるのがある名所めぐり

- ・清明神社、気比の松原、明通寺、若狭国分寺、暦会館など

福井の歴史・史跡をたどる旅

- ・朝倉氏一乗谷氏遺跡博物館、永平寺、平泉寺、気比神宮など

文化県都プロジェクトの一環として取組み、  
移住・定住の促進、関係人口、交流人口の拡大へ

自分らしく（居場所）、チャレンジできる（舞台）  
長い歴史と伝統が育む寛容なまちへ

一過性ではない、継続的な効果に！

ふるさと納税増額↑  
観光誘客拡大↑

認知拡大

1. NHK連携プロモーション

大河ドラマ館  
パブリックビューイング  
ロケ番組誘致など

2. 官民連携によるV-Tuber

開発・活用によるプロモーション

3. パブリシティプロモーション

SNSなどメディアに越前市の情報を発信

4. 新札発行プロモーション

越前和紙PR、二千円札の活用など

- ・文化県都宣言プロジェクト
- ・ユネスコ創造都市ネットワーク
- ・U I J ターン倍増プロジェクト
- ・観光産業拡大プロジェクト
- ・楽しい居場所づくりプロジェクト

<令和9年度の主な成果目標>

区分	R 4	R 9
認知度	10%	20%
移住人口	250人	500人
観光客入込数※	308万人	350万人
(県外客比率) ※	32.5%	40.0%

※コロナ前のR元年の数値

周知・機運醸成

懸垂幕、看板  
タペストリー  
のぼり  
出向宣伝

関心・マインド醸成

1. 市民・事業者意識  
ブランドハンドブック  
まちづくりワークショップ
2. 歴史文化  
国府発掘事業  
まち歩き・講座開催  
公会堂記念館展示

行動

1. 歴史文化  
創造都市推進事業  
源氏物語アカデミー  
幻想曲「式部」復活発表会  
ゆかりの地連携
2. 産業支援  
新商品、新サービス開発  
ものづくりファン創出事業
3. イベント支援  
若者舞台創出事業  
紫式部まつり

紫式部プロジェクト推進協議会（案）

目的 紫式部を軸とした地域の魅力発信や文化振興、観光誘客に官民一体となり取り組むことを目的とする。

- 事業内容 ①大河ドラマを活用した文化振興や物産品の開発、観光誘客・周遊促進及び経済効果の向上に関する事  
②プロモーション全般に関する事  
③大河ドラマ館等の関連拠点の整備運営等

構成団体 市観光協会、県観光連盟、武生商工会議所、越前市商工会など経済団体、  
源氏物語アカデミー、市文化協議会など文化団体、福井県及び越前市

※上記のほか、賛同会員の加入を随時促進していく。

設置期間 令和5年3月22日（水）～ 令和6年度末まで

▼紫式部プロジェクト推進協議会負担金 積算内訳

区分	R5	R6（見込）
・大河ドラマ館（会場整備、展示、運営等）	155,000	145,000
・V-Tuber開発活用プロモーション	100,000	検討
・プロモーション、周知、機運醸成	47,000	検討
・事業収入等（大河ドラマ館、V-Tuber活用）	-60,000	-90,000
計	242,000	

財源内訳

区分	R5	R6（見込）
国デジタル田園都市構想推進交付金	105,973	（活用予定）
一般財源	136,027	
計	242,000	